※ JR原宿駅からは、赤の矢印の通りにお越しください。
神宮前交差点より２つ目の信号を右折してください。

住所：〒 150-0001　東京都渋谷区神宮前6-26-1

電話：03-3486-8333／FAX：03-3486-8334

URL: https://harajuku-reha.com/

Mail: info@harajuku-reha.com

■アクセス

原宿駅　表参道口（JR 山手線）より徒歩８分

明治神宮前（原宿）駅　７番出口（東京メトロ副都心線・千代田線）より徒歩４分

医療法人社団 巨樹の会
原宿リハビリテーション病院

原宿リハビリテーション病院

HARAJUKU REHABILITATION HOSPITAL

医療法人社団 巨樹の会

2025.12

手には技術 頭には知識 患者様には愛を

基本方針

1. 安心・安全な医療
学問的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。
そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2. 回復期リハビリテーション医療
患者様・家族と医療情報を共有し、回復期リハビリテーション病院として入院から在宅まで一貫した、患者様のニーズに沿った安心できるチーム医療を提案します。

3. 地域医療
地域の医療・福祉施設と密接な連携をとり、寝たきり「ゼロ」、在宅復帰を目標に誰でも安心して利用できる、回復期リハビリテーション病院を目指します。

病院施設基準

当院は、厚生労働大臣の定める基準を満たしている保険医療機関です。
以下の施設基準を関東信越厚生局長に届け出ております。

病院管理者　病院長　松谷 雅生

【基本診療料】
- ●回復期リハビリテーション病棟入院料（Ⅰ）
- ●療養病棟療養環境加算（Ⅰ）
- ●データ提出加算（Ⅰ）
- ●医療安全対策加算 2
- ●医療安全対策地域連携加算 2
- ●入退院支援加算 1
- ●認知症ケア加算 1
- ●診療録管理体制加算 3

【食事療養費】
- ●入院時食事療養費（Ⅰ）

※当院では、管理栄養士または栄養士によって管理された食事を適時適温で配膳しております。
「食事時間」
朝食…8：00　昼食…12：00　夕食…18：00

【特掲診療料】
- ●脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
- ●運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ●廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）
- ●心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- ●エックス線診断料
- ●コンピュータ断層撮影（CT 撮影）

【歯科施設基準】
- ●地域歯科診療支援病院歯科初診料
- ●歯科治療時医療管理料
- ●在宅患者歯科治療時医療管理料
- ●歯科口腔リハビリテーション料 2
- ● CAD ／ CAM 冠及び CAD ／ CAM インレー
- ●クラウン・フリッジ維持管理料
- ●歯科診療特別対応連携加算
- ●歯科技工士連携加算 2
- ●歯科外来診療医療安全対策加算 2
- ●歯科外来診療感染対策加算 4

院長あいさつ

病院長
松谷 雅生 Matsutani Masao

当院は渋谷区神宮前の山手線沿いの高台にあり、病棟ロビーからは明治神宮の広大な杜と、吊り屋根構造が美しい国立代々木第一体育館（丹下健三氏設計）を含む代々木公園を見渡せます。病院の敷地内には約 3,000 平方メートルの庭園があり、148m の遊歩道と四阿風の休憩所を設け、リハビリテーションの最終段階である屋外歩行訓練に利用しております。四季折々に姿を変える自然環境の中での訓練は、毎日繰り返す基本的なトレーニングの中のオアシスとして、“早く庭での訓練ができるようになりたい”との格好の到達目標となっております。夜の帳が下りると、新宿、渋谷の夜景が広がり、大東京の懐に抱かれた眠りの時が訪れます。

回復期リハビリテーション病院とは、突然の脳卒中、歩行の妨げとなる大腿骨、脊椎などの骨折、種々の原因による肺炎治療後の体力低下症など、大きな病気の治療後に直ちには発病前の生活に戻れない方々に、1 日最長 3 時間のリハビリテーションを連日（休日もなく）続けることによって、発病前の状態に戻すことを目的としております。

当院では、入院される方々のそれぞれに異なる復帰への道筋に沿ってリハビリテーションを行います。自宅に戻られる場合は、ご家族の介助量を最少限にしてあげなければなりません。復職を希望される方には、入院中から勤務先と連携し、スムースな復職環境を整えてあげることも必要です。当院では、スタッフ一人一人が、日々自分の役割を愚直に、丁寧に続け、全員が協力して、安全で効率的なリハビリテーション医療を提供いたします。

CONTENTS

- 院長あいさつ
- 基本方針
- 病院施設基準 …… 1 - 2
- 当院のリハビリテーション医療… 3 - 6
- フロア（病室）のご案内…… 7 - 10
- 設備のご案内……11 - 12
- 1day スケジュール ……13 - 14
- 退院後の支援……15
- 実績 DATA ……16
- 当院について ……17
- 入退院の流れ……18

最新設備とチーム医療で患者さんを365日サポート

近年、高齢化の進展や生活環境の変化に伴い、疾病・障害の重症化・多様化が進んでおります。
当院では最新の設備やプロフェッショナルなスタッフ陣を揃え、改善に大きな成果を上げております。

最新鋭のマシンで、“座る・立つ・歩く”の動作トレーニングを実施

BMI ～ Brain Machine Interface ～

脳梗塞や脳出血などの疾病により動かない、又は動きにくい手に対して脳波を解析し、手を開く運動のリハビリテーションを行うことができます。

就労支援プログラム

脳血管疾患患者の復職を、医師を中心とした多職種で支援しております。復職に必要な身体機能や脳機能、通勤に必要な体力等を評価し、必要に応じて事務作業や職場訪問等を行い、各患者さんに合った治療プログラムを提供していきます。

アイビスプロ

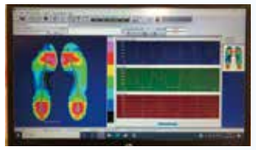
運動麻痺や筋力低下などで動きにくくなった部位に電気刺激を加え、鎮痛や筋力測定を行うことができます。筋力強化を図ることや疼痛軽減、評価を行うことでより効果的なリハビリテーションを提供していきます。

G－TES

下肢すべての筋肉を動かす電気刺激装置で、リハビリテーションに難渋する患者さんに対して安全に運動を行うことを提供します。

インソール型足圧分布測定 Pedar（ペダー）

インソール型のセンサで、動的・静的な圧力分布をリアルタイムで解析・表示します。ワイヤレスでの測定が可能なため、歩行だけではなく走行やジャンプなど複雑動作も測定可能。Web カメラで患者さんの歩行動画と合わせた足圧情報を提示し、フィードバックすることができます。

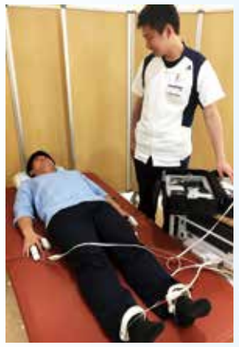


3D プリンタ

患者さん一人ひとりに合わせた自助具をその場で作ることが可能です。安全で個別性が高く使いやすい自助具を提案します。

ロボットスーツ HAL®

脊髄損傷や事故による麻痺の影響で下肢が動かしづらくなってしまった方に対して、ロボットスーツ HAL® を使用し、起立訓練や歩行訓練を行います。下肢を動かそうとした際に生じる微量な生体電位信号を感知し、下肢の動きをアシストするため、脳神経や筋肉の繋がりが促進される効果が期待されます。



In body

身体を構成する基本成分である体水分、タンパク質、ミネラル、体脂肪を定量的に分析し、栄養状態やむくみ、発達など人体成分の過不足を評価する検査を用いて評価を行っております。

寝起きや掃除、洗濯などの生活動作を一歩ずつ着実に改善

日常生活に復帰するため、能力回復をめざしてリハビリテーションを実施します。一人ひとりの身体機能を把握し、実生活に即した効果的なトレーニングを実施。絵画や書道、パズルなどの訓練で、細やかな動きをスムーズに行えるようアプローチしていきます。

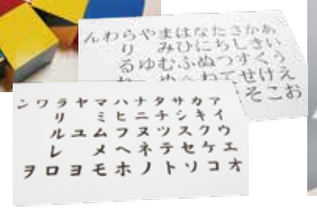
アイビスを使ったリハビリテーション

調理訓練。作業療法士がサポートします

家事訓練

“読む・聞く・書く・噛む・飲み込む” 力を個別のプログラム訓練で取り戻す

評価や訓練に使用する道具



脳卒中・頭部外傷が原因で起こるコミュニケーション障害や食べること・飲み込む機能について問題のある方に対し、言葉や意思を引き出す訓練を行います。ろれつが回りにくい構音障害には発音練習、失語症には絵や文字カードを活用した訓練、摂食•嚥下障害には栄養管理や食形態の調整によって機能回復を目指します。

食べ物を食べる訓練

摂食嚥下リハビリテーション

質の高い治療と口腔ケアを提供

当院では、リハビリテーション科指導医を有する医師と常勤歯科医師、言語聴覚士による専門チームにより、摂食嚥下障害に対するリハビリテーションプログラムを提供しております。
院内の歯科診察室に加え、歯科ユニット、歯科用レントゲン機器も完備しておりますので、質の高い口腔ケアも提供させていただきます。

リハビリテーション科指導医
稲川 利光 医師

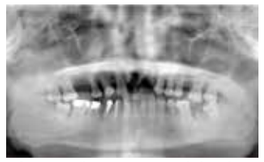
歯科診療部長
中島 祐子 医師

「口から食べる」…機能低下の改善と予防

- 全顎が撮影可能なパントモグラフィー
- 舌の運動機能を測定する舌圧測定器
- 口唇、舌の巧緻性及び速度を計測するディアドコ測定器
- 口腔内の乾燥度を測定する口腔水分計
- 嚥下に必要な感覚刺激を行うジェントルスティム
- 嚥下に必要な筋肉へ刺激を与えるバイタルスティム

などの専門的機器を備え、客観的に診断を行っています。
また症例によっては、VE（嚥下内視鏡検査）VF（X 線嚥下検査）も行える設備も有し、より高度な精密検査も可能となっております。

パントモグラフィー



パントモグラフィーで口腔内を撮影

舌圧測定器　ディアドコ測定器　口腔水分計

ジェントルスティム　バイタルスティム

VE（嚥下内視鏡検査）

VF（X 線嚥下検査）

「オーラルフレイルの啓蒙」「口腔機能低下症」の診療に積極的に取り組んでおります。

「オーラルフレイル」とは滑舌の低下、わずかなむせ、食べこぼし、噛めない食品の増加など、「口腔に現れる虚弱」を意味しております。
さらに「口腔乾燥」「噛む力の低下」「舌口唇の運動機能低下」「飲み込みの低下」「口腔不潔」など積極的な歯科治療の介入が必要な状態を「口腔機能低下症」と言います。
当院では、専用の機器を備え、更に専門的な知識を持って、この2つに積極的に取り組んでおります。

利便性と居心地の良さを重視したフロア

2 人用から 4 人用の病室は、プライバシーを配慮した構造に。
患者さんそれぞれの空間を保ちつつ、療養生活をお過ごしいただけます。

Price　特別療養環境室（有料部屋）料金表

	料金（税込）	部屋番号	備品等
特別室	115,500	1117	テレビ・ブルーレイレコーダー・冷蔵庫・電子レンジ・ドライヤー・電気ポット・ソファー・テーブル・チェアー・バス・トイレ・洗面台
特別室	104,500	1102	テレビ・ブルーレイレコーダー・冷蔵庫・電子レンジ・ドライヤー・電気ポット・ソファー・テーブル・チェアー・バス・トイレ・洗面台
個室（A）	33,000	1115	テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・テーブル・チェアー・トイレ・洗面台
個室（B）	21,900	1118・1120・1121・1122・1123・1125	テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・テーブル・チェアー・シャワールーム・トイレ・洗面台
個室（C）	21,780	802・816・818・902・916・918・1002・1016・1018	テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・テーブル・チェアー・トイレ・洗面台
個室（D）	21,400	1103・1105・1106・1107・1108・1110・1111・1112・1113	テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・ソファー・チェアー・トイレ・洗面台
個室（E）	20,350	820・821・822・823・825・826・920・921・922・923・925・926・1020・1021・1022・1023・1025・1026	テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・テーブル・チェアー・シャワールーム・トイレ・洗面台
個室（F）	19,800	803・805・806・807・808・810・811・812・813・815・827・903・905・906・907・908・910・911・912・913・915・927・1003・1005・1006・1007・1008・1010・1011・1012・1013・1015・1027	テレビ・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・ソファー・チェアー・トイレ・洗面台
個室（G）	16,500	801・817・901・917・1001・1017・1101・1116	テレビ・冷蔵庫・ケトル・チェアー・トイレ・洗面台
個室（H）	13,200	301・316・401・416・501・516・601・610・701・716	テレビ・冷蔵庫・ケトル・チェアー・トイレ・洗面台
4 人部屋	7,700	608 ②（窓）・611 ②（窓）	テレビ・冷蔵庫・洗面台
4 人部屋	6,600	602 ②（窓）・602 ③（窓）・608 ③（窓）・611 ③（窓）	テレビ・冷蔵庫・洗面台
2･4人部屋	5,500	702 ②（窓）・702 ③（窓）・715 ②（窓）・717 ②（窓）	テレビ・冷蔵庫
2･4人部屋	3,300	702 ①（廊下）･702 ④（廊下）･715 ①（廊下）･717 ①（廊下）	テレビ・冷蔵庫
2･3人部屋	4,400	703 ③（窓）･705 ②（窓）･706 ③（窓）･707 ②（窓）･708 ③（窓）･710 ②（窓）･711 ③（窓）･712 ②（窓）･713 ③（窓）･718 ③（窓）･720 ②（窓）	テレビ・冷蔵庫
2･3人部屋	3,300	703 ①（廊下）･703 ②（中央）･705 ①（廊下）･706 ①（廊下）･706 ②（中央）･707 ①（廊下）･708 ①（廊下）･708 ②（中央）･710 ①（廊下）･711 ①（廊下）･711 ②（中央）･712 ①（廊下）･713 ①（廊下）･713 ②（中央）･718 ①（廊下）･718 ②（中央）･720 ①（廊下）	テレビ・冷蔵庫
4 人部屋	5,500	606 ②（窓）･606 ③（窓）･607 ②（窓）･607 ③（窓）･608 ①（廊下）･608 ④（廊下）・611 ①（廊下）・611 ④（廊下）・612 ②（窓）・612 ③（窓）･613 ②（窓）･613 ③（窓）･615 ②（窓）･615 ③（窓）	テレビ・冷蔵庫・洗面台
4 人部屋	4,400	606 ①（廊下）･606 ④（廊下）･607 ①（廊下）･607 ④（廊下）･612 ①（廊下）･612 ④（廊下）･613 ①（廊下）･613 ④（廊下）･615 ①（廊下）・615 ④（廊下）	テレビ・冷蔵庫・洗面台
2 人部屋	3,300	517 ①（廊下）・517 ②（窓）	テレビ・冷蔵庫
4 人部屋	3,300	602 ①（廊下）・602 ④（廊下）	テレビ・冷蔵庫・洗面台

※料金は1日にかかる費用です。（1泊2日の場合は、2日分の料金となります。）
※室料にはアメニティ代が含まれております。
※①～④はベット位置の番号になります。
※無料部屋のご用意もございます。

Hospital Room

2 人部屋（有料）

I（窓側・角部屋）　J（窓側）
K（廊下側）　L（廊下側）
M（窓・廊下側）
設備品：テレビ・冷蔵庫・チェアー・トイレ・洗面台（共用）
※お部屋によっては設備が異なります

3 人部屋（無料）

N（窓側）　O（中央・廊下側）
設備品：テレビ・冷蔵庫・チェアー・トイレ・洗面台（共用）
※お部屋によっては設備が異なります

3 人部屋（有料）

N（窓側）　O（中央・廊下側）
設備品：テレビ・冷蔵庫・チェアー・トイレ・洗面台（共用）
※お部屋によっては設備が異なります

4 人部屋（有料）

P（窓側・角部屋）　Q（窓側･角部屋）
R（窓側）　S（窓・廊下側）
T（廊下側）　U（廊下側）　V（廊下側）
設備品：テレビ・冷蔵庫・チェアー・トイレ・洗面台（共用）
※お部屋によっては設備が異なります

都会的で上質な安らぎを感じられるフロア

入院中、生活の場となる病室が快適で過ごしやすいよう、
ゆったりとした空間が魅力の「特別室」「個室」をご用意しました。

Hospital Room

※お部屋代は別添の料金表をご確認ください。

特別室 S1
47.07m²

設備品：テレビ（50 型）・ブルーレイレコーダー・冷蔵庫・電子レンジ・ドライヤー・電気ポット・ソファー・テーブル・チェアー・バス・トイレ・洗面台
11F 専属のコンシェルジュ配置

特別室 S2
47.23m²

設備品：テレビ（50 型）・ブルーレイレコーダー・冷蔵庫・電子レンジ・ドライヤー・電気ポット・ソファー・テーブル・チェアー・バス・トイレ・洗面台
11F 専属のコンシェルジュ配置

個室 A·C

設備品：テレビ（32 型）・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・テーブル・チェアー・トイレ・洗面台
※お部屋によっては設備が異なります。

個室 B·E

設備品：テレビ（32 型）・冷蔵庫・電子レンジ・ケトル・テーブル・チェアー・シャワールーム・トイレ・洗面台
※お部屋によっては設備が異なります。

個室 D·F

設備品：テレビ（32 型）・冷蔵庫・冷凍庫・電子レンジ・ケトル・テーブル・チェアー・ソファー・トイレ・洗面台

個室 G·H

設備品：テレビ（32 型）・冷蔵庫・ケトル・テーブル・チェアー・トイレ・洗面台

フロア（病室）のご案内

機能性と安らぎを追求した先進設備

最新鋭のリハビリテーション設備を導入し、一人ひとりに最適なリハビリテーションを提供することで、身体機能の回復に大きな成果を上げています。

シミュレーションルーム（洋室）

シミュレーションルーム（和室）

資格を有したトレーナーがリハビリテーションの時間以外にも体調や健康管理、自主トレーニングの指導を行う

HAL® やエルゴメーター、トレッドミルなどの設備が揃うリハビリテーションルーム。明るく広々した空間

Facility　寛げる癒しの空間

ラウンジ

受　付

デイルーム

介護浴

歩行訓練のための散歩道

緑に囲まれながら一休みできる休憩所

生活用品が揃う売店

最上階からの眺め。天気がよければ、歩行訓練をしながら富士山を望むことができる

退院後の生活を想定した訓練を行うADL室

ゴルフ、野球など球技の練習ができるスペース

1day スケジュール

寝たきりを防止して健康な心身を取り戻すため、規則正しい生活を送れるよう
1日のタイムスケジュールを作成しております。

※疾患や重症度、患者さんの状態により異なります。

面会時間：詳しくはホームページをご覧ください

※新型コロナウイルスの感染状況により変動あり

6:00	7:00	8:00	8:30	12:00	12:30	15:00	18:00	19:00	22:00
起床	排泄動作 更衣動作 整容動作	朝食	リハビリテーション準備 離床活動	昼食	排泄動作 整容動作 リハビリテーション準備	入浴 体操	夕食 排泄動作 更衣動作 整容動作	レクリエーション	消灯

室内での歩行訓練

屋外での歩行訓練

掃除機を使った畳上の訓練

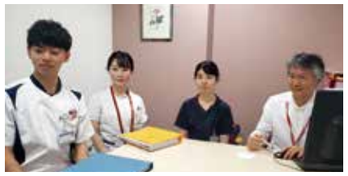
リハビリテーション

浴室での日常動作訓練

レクリエーション

◆月1回の面談

患者さんと全スタッフで毎月1回、面談を行っております。ご家族にも参加していただき、現況についてご説明します。悩みや不安などがあれば、全員で解決できるよう調整を行っていきます。



◆コンシェルジュ

経験豊かなコンシェルジュが在籍しております。安心で快適な入院生活となるよう、患者さんのお手伝いをいたします。

認知症認定看護師の声

認知症認定看護師教育課程での学びを活かし、日々の業務に取り組んでおります。一人ひとりの患者さんの訴えや行動の中にある思いや意思をくみ取れるよう関わり、看護展開を行っております。また、それぞれの専門的意見を提示し、多角的視点で対象者を捉え、情報を共有して目標を一致させております。今後もチーム医療の力を最大限発揮できるよう努力していきます。

1day スケジュール

退院後の支援

安心できる在宅ケアのお手伝い

退院後、社会・家庭生活への復帰を目指し、ご本人へのサポートはもちろん、ご家族へのアドバイスも行っております。
訪問リハビリテーションや家屋調査を行うことにより、日常生活へのスムーズな移行を目指します。

通所リハビリテーション

利用者さんがご自宅へ帰られた後も安全に日常生活が送れるよう、当院にお越しいただき、運動へのアドバイスや体操指導、充実した生活を過ごせるよう、趣味活動や社会参加への支援を行います。毎日健やかに！心と体の両方をサポートします！

送迎について

対　　象：渋谷区在住の方、要介護者、要支援者で来院が困難な方。
※上記以外での希望につきましては、都度検討させていただきます。

送迎範囲：渋谷区内
利用者さんの住居によりルートを決めるため、利用状況によりご希望に添えない場合がございます。
利用開始前に必ずご相談ください。

訪問リハビリテーション

ご自宅で必要な動作を練習します

訪問リハビリテーションのチーム

当院は退院後のサポートとして訪問リハビリテーションを行っております。対象は退院後の在宅生活に不安を感じる方や通院が難しい方、福祉用具や住宅改修についてのアドバイスが欲しい方となります。
内容は心身機能の維持、回復や日常生活の自立支援はもちろん、趣味や生きがいを通じて、自分らしい生活を取り戻すためのお手伝いをさせて頂きます。また利用者さんのご自宅の環境に合わせてリハビリテーションプログラムを考えていくため個別性が高く、普段の生活に直結し介助量の軽減や自宅内での動作の獲得に繋がりやすくなります。

家屋調査の実施

自宅へ退院される前に、理学療法士や作業療法士が患者さんの自宅に伺い、現在の自宅の環境で患者さんが生活できるかを検討し、必要であれば手すりの設置や段差解消の提案を行います。また、より自宅に近い環境でリハビリテーションを行うための情報収集を行います。

ご自宅のお風呂や段差の高さを計測します

ご自宅での動作確認

チェックポイント

- 住宅のタイプ・間取り
- 玄関
- 台所
- 階段
- トイレ・浴室
- 寝室・寝具　など

実績 DATA

令和６年度（令和６年4月1日～令和７年3月31日）

1,453名 入院患者数

75.8歳 平均年齢

在宅復帰率

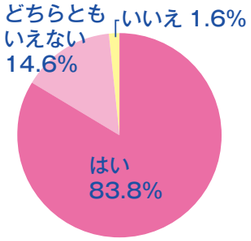
自宅、居宅系介護施設
（グループホームや有料老人ホームなど）に
退院したことをさす。

93.8%

患者満足度

当院を紹介したいと思いますか？

グループ統一のアンケート項目で退院前に配布・回収している。
毎月集計し院内掲示している。



評価点

89.6／100点

回復期リハ病棟入院までの日数

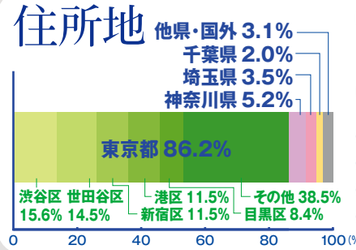
紹介からの日数

15.0日

リハ単位数

8.1単位

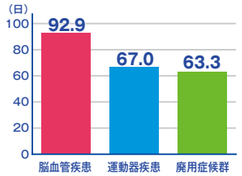
住所地



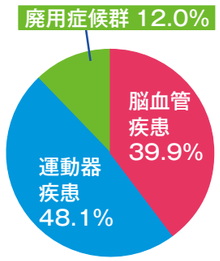
①東京都 **86.2%**
②神奈川県 5.2%
③埼 玉 県 3.5%
④千 葉 県 2.0%
⑤他県・国外 3.1%

疾患別平均在院日数

平均 **74.4日**



疾患別内訳



脳血管疾患 **39.9%**

運動器疾患 **48.1%**

重症度

B項目（基準：40%以上） 日常生活機能評価	**55.0%**
重症者改善率（基準：30%以上） 日常生活機能評価の改善	**82.2%**

アウトカム

リハビリテーションの実績を評価する指標
リハビリテーションの質の評価
（基準：40 以上）

合計 **46.2**

当院について

原宿リハビリテーション病院の特徴

332 床を有する当院では、各スタッフが専門的な知識や目標を持ち、チームを結成して質の高いリハビリテーションを提供しております。スムーズな自宅復帰を目的として、充実したスタッフによるリハビリテーションを 365 日途切れることなくご提供。実生活に結び付いたリハビリテーションを行い、患者さんの早期回復を図ります。

当院は公益財団法人 日本医療機能評価機構の認定を受けています

回復期リハビリテーション病棟の対象患者

	対象疾患	入院期間
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150 日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頚髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180 日
2	多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90 日
3	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90 日
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	60 日
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90 日
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	90 日

患者の権利

1. 患者は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されず、平等な治療を受ける権利を持っています。
2. 患者は、医師による明確で分かり易い言葉での十分な説明にもとづいて、治療を受ける権利、あるいは治療を拒む権利を持っています。
3. 患者は、医師による診断と治療、および変わり得る治療方法と今後予測される問題に関して知る権利を持っています。
4. 患者は、自分の医療内容に関して、医師と共同して選択する権利、他の医師の意見・相談を得る権利、またいかなる場合であっても人格的に尊重され、プライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。
5. 患者は、利用可能な財政的支援について十分な情報を得て相談する権利を持っています。
6. 患者は、効果的医療行為が速やかに行われることを要求する権利、および継続的に、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

■入院までの流れ

＜病院間の連絡＞

医師またはソーシャルワーカーから医療連携室までご連絡いただき、FAX にて診療情報提供書・ADL 表をお送りいただくようお願いいたします。即日（当日もしくは翌日）、ご連絡いたします。

入退院支援センター直通【 9 : 00 ～ 17 : 00（平日）】

電話：03-3486-1225　FAX：03-3486-1226

＜ご家族の入院前見学・面談の調整＞

ご家族よりお電話をいただき、入院前見学・面談の日程を調整させていただきます。お越しいただくことが難しい際には、お電話での対応も可能です。

＜見学・面談＞

＜入院決定のお知らせ＞

入院日の調整をさせていただきます。

＜入院＞

入院日までに以下をご用意ください（貴院様式で結構です）。

1. 退院証明書
2. 診療情報提供書
3. ADL 表
   看護サマリーに含まれている場合は必要ありません。
4. 看護サマリー・看護必要度データ
   食事内容：治療食内容…主食、副菜の形態、塩分・脂肪・タンパク質制限の有無、禁止食、カロリーなどについてご記載ください。身長・体重の記載もお願いいたします。
5. リハビリテーションサマリー
6. 画像
   発症後・直近のもの（整形であれば術前・術後）、MRI・CT などの画像があれば併せてお願いいたします。フィルムでも CD-ROM でも結構です。
7. 血液検査データ
   直近のもののコピーをお願いいたします。
8. 薬

※クリティカルパスやプロトコールがある場合はいただけると幸いです。

■退院までの流れ

入院

医師・リハビリテーションスタッフ・看護師との合同面談

治療プログラム作成

リハビリテーション開始

定期的に患者を中心に面談を実施

退院に向けての環境調整と整備

退院

在宅

医療介護施設

かかりつけ医

個人情報保護について

原宿リハビリテーション病院（以下、「当院」といいます。）では、患者等の権利利益を保護し、その人格を尊重することを目的として、患者等の医療に関する個人情報（以下、「医療個人情報」といいます。）を適正に取り扱います。当院では、次に掲げるとおり、患者等の医療個人情報について、診療及び医学の研究・教育、並びに、医学部および病院の管理運営のために必要な範囲で、これを適正に取得し、利用いたします。また、取り扱う医療個人情報の漏えい、滅失またはき損の防止その他安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。

【1】利用目的

●当院は、基本的には、次の各号に掲げる目的で医療個人情報を取り扱います。あらかじめご了承ください。

1. 患者等に対する医療サービスの提供
2. 医療保険事務（審査支払機関に対するレセプトの提出、審査支払機関または保険者からの照会に対する回答を含む。）
3. 患者等に係る施設の管理運営業務
4. 他の病院、診療所、助産所、医師、歯科医師、看護師その他医療従事者（以下、「医療機関等」という。）との連携
5. 他の医療機関等からの照会に対する回答
6. 他の医療機関等の意見・助言を求める場合
7. 検体その他の検査
8. 患者の親族等への病状説明
9. 事業者等からの委託を受けて健康診断等を行った場合における、事業者等に対するその結果の通知
10. 医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談または届出等
11. 症例研究、その他医学の研究・教育
12. 患者から届出のあった連絡先に電話をかける等、本人の同意を得るために必要な諸作業

●当院は、あらかじめご本人の同意を得ないで、上記の利用目的の達成に必要な範囲を超えて、医療個人情報を取り扱いません。

【2】安全管理措置

当院は、取り扱う医療個人情報の漏えい、滅失またはき損の防止その他の医療個人情報の安全管理のために必要かつ適切な組織的、人的、物理的ないし技術的な措置を講じます。

【3】診療録等の開示

診療録等については、「医療情報提供指針」に従って、患者等に対して開示（閲覧・謄写等）いたします。

上記の他、当院における医療個人情報の取り扱いに関し、ご不明な点、ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。

相談窓口：原宿リハビリテーション病院　電話番号：03-3486-8333